

RAID1/10設定時のデータの再構築方法について

RAIDユーティリティでRAID1、RAID10を設定している場合、搭載HDDが1台故障した場合に限り、該当HDDを交換する事により、データの再構築を行う事が可能です。リビルディング作業は以下の方法で実行して下さい。

注) リビルド作業中は電源がONのコンピュータとST4-TBが接続をされている必要があります。リビルド作業中はコンピュータをスリープにしたり電源をOFFにしない事を推奨します。

1. 該当HDDを交換後、RAIDユーティリティ内の「Adaptor」ツリーをクリックし、構築済みの該当RAIDグループ(「！」マークの付いているVirtual Disk)をクリックします。!
2. 「Operate」をクリックし、サブメニュー内の「Rebuild」をクリックします。



3. 一覧よりリビルドを行いたい新ディスクを選択し、「submit」をクリックします。

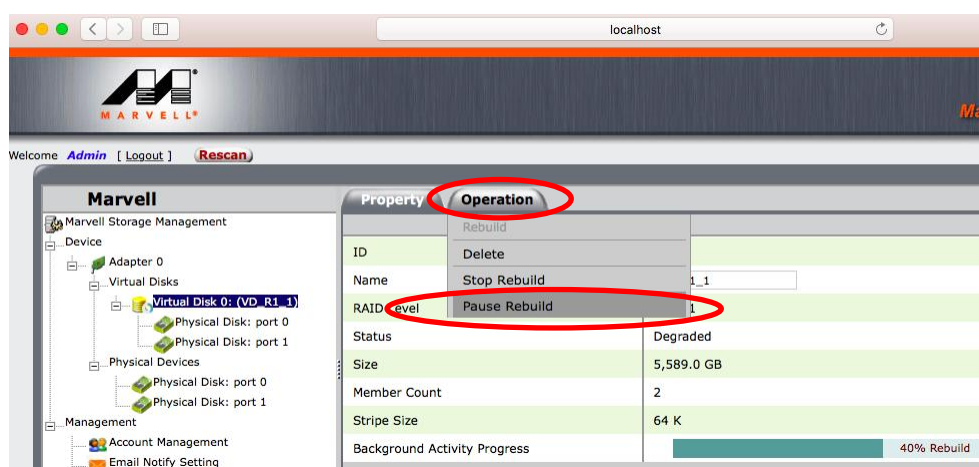


4. リビルド作業が開始され、リビルドの進捗状況が表示されます。



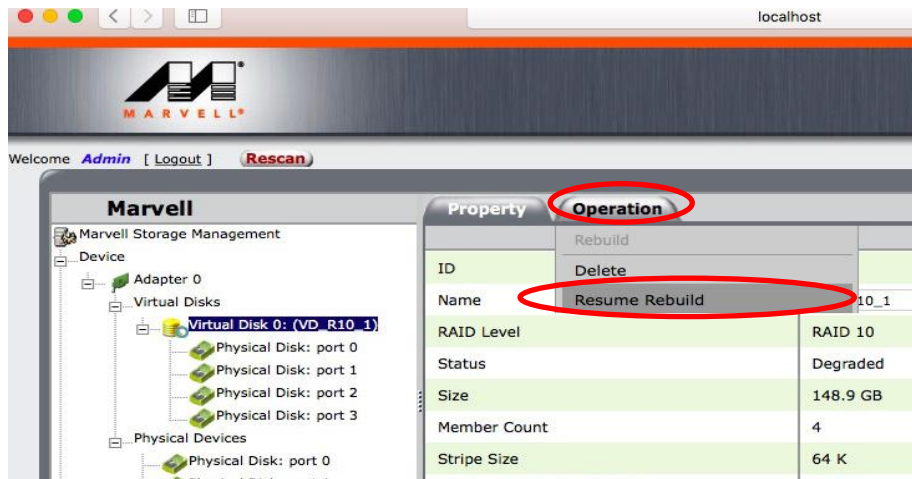
#### 【リビルド作業を途中で中断する場合】

①リビルド作業はコンピュータの電源がONの状態時のみに行われます。OSのスリープ又はコンピュータの電源OFF等でリビルドを中断する場合は、事前に付属RAIDユーティリティ上で該当RAIDを選択し、「Operation」より「Pause Rebuild」を実行してリビルド作業を中断して下さい。



②リビルド作業を再度実行する場合は付属RAIDユーティリティ上で該当RAIDを選択し、「Operation」より「Rebuild Resume」を選択し、再度リビルドを再開してください。

※リビルドを中断した場合、自動で再開はされません。手動で再開をさせる必要があります。「Resume Rebuild」が表示されない場合は、ユーティリティ上で「Rescan」をクリックするか、一度OSを再起動をして再度お試しください。



※リビルドが100%まで完了したらRAIDユーティリティ上で「Rescan」をクリックし、リビルドが正常に完了しているかご確認下さい。正常に完了した場合、バーチャルディスクのアイコン色が青になります。

注) MacOSご利用時、リビルド（データ再構築作業）実行をする際に、MacOS内の「システム環境設定」→「省エネルギーの設定」上にて、「可能な場合はHDDをスリープする」にチェックが入っている場合は、事前にチェックを外してください。OS側の省電力の設定によりリビルド作業が途中でキャンセルされる場合がございます。上記によりリビルドが途中でキャンセルされた場合は、省電力設定を変更の上、再度リビルド作業を最初からやり直してください